



れんごう中越地協

第964号2018.5.1
連合中越地域協議会
長岡市東蔵王2-2-68
TEL 0258-24-0515
FAX 0258-24-8930
発行人 矢島 良彦
定価 1部10円
購読料は会費に含む



長岡地区労働者福祉協議会

年度当初の幹事会で事業状況と計画等を協議

LSC相談件数は、年間403件、見附は12件

長岡地区労働者福祉協議会(以下、地区労働協)の幹事会が、4月10日(火)13時30分から長岡市勤労会館で開催された。会議では、17年度の長岡地区労働協とながおかライフサポートセンター(以下、LSC)の事業状況と18年度計画等について協議した。

矢島会長は幹事会開催にあたり「労働協を構成する組織で改編がされたところ、これか



ラム」事業(9月2日)は、全体会402名、13セッション合計445名、交流会218名。②LSC事業は、年間相談件数403件。見附事務所12件。心と身体を守るセルフケアには、毎回5から6名(最多11人)、年間で261名。LSCチラシのポスターは、2人のボランティアで年間6万枚超を配布。新聞折込を2万6千枚超。相談内容は、「こころの問題」「家庭問題」「消費生活」「離婚・男女問題」「人間関係」「労働相談」等の順に多く、これらで78%程を占めた。

早速、出席状況と各団体の転出入、組織変更等を含めた自己紹介が行われ、18年度の役員体制を確認した。次に、NPO法人フードバンクにいがたから高見理事長と間副理事長(新潟県労働者福祉協議会専務理事)が、フードバンクにいがたのNPO法人化と事業状況、寄付と会費会員のお祝いなどと述べられた。続いて、17年度事業の実施状況が次のように報告された。①「2017にいがたワーク&ライフフォー

しめると報告された。この他に、見附事務所との対応、見附市内での相談について、長谷川協力員(前見附事務所長)があたること等を報告した。また、長岡地区労働協会計およびながおかLSC会計の執行見込みが報告され確認した。次に、18年度事業について記載のように協議された。①長岡地区労働協事業は、「従来の労働協交流懇親会と連合中越地協労働・教養・文化講座に、ワーク&ライフセミナーや同フォーラムの経験を踏まえて検討する。②LSC事業は、17年度同様に、「通常相談」と「心と身体を守るセルフケア」の継続。見附エリアにおけるチラシ配布やみつけ元気助け合いの会との継続連携。③通常総会は6月21日(木)午後1時30分からまちなかキャンパス長岡で開催する等とした。

政府は、「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律案」を4月6日に閣議決定し国会に提出。連合は、次の事務局長談話を出した。「働く者のための働き方改革」の実現。罰則付き時間外労働の上限規制導入。中小企業における60時間超の時間外労働割合増率に対する猶予措置撤廃。雇用形態間における不合理な格差解消に向けた同一労働同一賃金の法整備は早急に実現すべきであること。「高度プロフェッショナル制度」の創設は問題等だ▼この法案は、労働基準法だけでなく、労働契約法やパートタイム労働法、労働者派遣法等々で、趣旨や内容が異なる8つを1つに束ねたもの。政策の方向性が異なるものをも、一纏めに審議することは、安全保障関連法案と同様に、一つ一つの法案審議が深まらない問題点・矛盾点を含んでいる▼一方、今年の春闘では、大手において、長時間労働の

釣魚大会は43回目を迎え、今年も柿崎中央海水浴場付近を会場に、「キス釣一本」で行った。開催日は、6月2日(土)午前5時(切上げ11時)。参加費は1000円。実施要綱と各賞(順位・大物・雑魚・女性賞など)を決定した。昨年の大会では、天気は良かったものの波が高く、海は大きく荒れていた。そのせいもあってか、参加者全員がキスは一匹も釣れず、残念な大会であった。ぜひ、今年は昨年の分も期待したい。次に、囲碁・将棋大会について協議した。26回目となる開催日は7月21日(土)とし、例年通りの競技要綱で行う事とした。昨年は、藤井将棋棋士の活躍等の影響から、例年の倍ほどの将棋参加者があった。今年も参

加賞には、栃尾名物「あぶらげ」が付く。今年も大勢の方に参加してほしい。

フフォーラムが中心であったが、これだけでは勤労者や生活者のためにはならない。各団体のノウハウをこれらの中に盛り込んでほしい。三月末にLSC見附事務所を閉鎖したが、引き続き事業をしっかりと行っていきたい」等の挨拶をのべた。

「通常相談」と「心と身体を守るセルフケア」の継続。見附エリアにおけるチラシ配布やみつけ元気助け合いの会との継続連携。③通常総会は6月21日(木)午後1時30分からまちなかキャンパス長岡で開催する等とした。

政府は、「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律案」を4月6日に閣議決定し国会に提出。連合は、次の事務局長談話を出した。「働く者のための働き方改革」の実現。罰則付き時間外労働の上限規制導入。中小企業における60時間超の時間外労働割合増率に対する猶予措置撤廃。雇用形態間における不合理な格差解消に向けた同一労働同一賃金の法整備は早急に実現すべきであること。「高度プロフェッショナル制度」の創設は問題等だ▼この法案は、労働基準法だけでなく、労働契約法やパートタイム労働法、労働者派遣法等々で、趣旨や内容が異なる8つを1つに束ねたもの。政策の方向性が異なるものをも、一纏めに審議することは、安全保障関連法案と同様に、一つ一つの法案審議が深まらない問題点・矛盾点を含んでいる▼一方、今年の春闘では、大手において、長時間労働の

政府は、「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律案」を4月6日に閣議決定し国会に提出。連合は、次の事務局長談話を出した。「働く者のための働き方改革」の実現。罰則付き時間外労働の上限規制導入。中小企業における60時間超の時間外労働割合増率に対する猶予措置撤廃。雇用形態間における不合理な格差解消に向けた同一労働同一賃金の法整備は早急に実現すべきであること。「高度プロフェッショナル制度」の創設は問題等だ▼この法案は、労働基準法だけでなく、労働契約法やパートタイム労働法、労働者派遣法等々で、趣旨や内容が異なる8つを1つに束ねたもの。政策の方向性が異なるものをも、一纏めに審議することは、安全保障関連法案と同様に、一つ一つの法案審議が深まらない問題点・矛盾点を含んでいる▼一方、今年の春闘では、大手において、長時間労働の

政府は、「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律案」を4月6日に閣議決定し国会に提出。連合は、次の事務局長談話を出した。「働く者のための働き方改革」の実現。罰則付き時間外労働の上限規制導入。中小企業における60時間超の時間外労働割合増率に対する猶予措置撤廃。雇用形態間における不合理な格差解消に向けた同一労働同一賃金の法整備は早急に実現すべきであること。「高度プロフェッショナル制度」の創設は問題等だ▼この法案は、労働基準法だけでなく、労働契約法やパートタイム労働法、労働者派遣法等々で、趣旨や内容が異なる8つを1つに束ねたもの。政策の方向性が異なるものをも、一纏めに審議することは、安全保障関連法案と同様に、一つ一つの法案審議が深まらない問題点・矛盾点を含んでいる▼一方、今年の春闘では、大手において、長時間労働の

政府は、「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律案」を4月6日に閣議決定し国会に提出。連合は、次の事務局長談話を出した。「働く者のための働き方改革」の実現。罰則付き時間外労働の上限規制導入。中小企業における60時間超の時間外労働割合増率に対する猶予措置撤廃。雇用形態間における不合理な格差解消に向けた同一労働同一賃金の法整備は早急に実現すべきであること。「高度プロフェッショナル制度」の創設は問題等だ▼この法案は、労働基準法だけでなく、労働契約法やパートタイム労働法、労働者派遣法等々で、趣旨や内容が異なる8つを1つに束ねたもの。政策の方向性が異なるものをも、一纏めに審議することは、安全保障関連法案と同様に、一つ一つの法案審議が深まらない問題点・矛盾点を含んでいる▼一方、今年の春闘では、大手において、長時間労働の

事務局長 小林 守



サラリーマン川柳(機が熟し 議論重ねて 先送り) (談合は しないでおこうと 談合し) (風呂上り 鏡に言われ ビールやめ) (スカイツリー 家族でのぼると 高いツリー)

サラリーマン川柳(嫁色に染まる息子にわが姿(やって見せ)言って聞かせて無視されて(帰省して顔を見るなりいつ帰る)いい質問上司にしても無反応)

新潟県議会議員選挙(南魚沼市南魚沼郡選挙区補欠選挙)期日が決定しました。連合新潟は、ひぐち秀敏さんを推薦し応援しています。



6月10日投票日

ひぐち 秀敏

新潟県議会議員選挙
(南魚沼市南魚沼郡選挙区補欠選挙)
連合新潟推薦

- ◆南魚沼市塩沢在住 56歳
- ◆新潟県立六日町高校卒



<経歴> 新潟県職員(1980年4月～2018年3月)

連合中越加盟単組紹介

— 美峰酒類労働組合新潟支部 —



私どもの組合は、群馬県高崎市にある本社組合の新潟支部であり、新潟支部は2018年4月現在7名の組合員で構成されています。

労使交渉や定期大会などは本社で行うため、可能な限り新潟支部からも参加するという形で行っております。

新潟支部として定期的に何かイベントを催しているわけではありませんが、不定期で年2回程度食事会や飲み会を開催し、組合員同士の親睦を深めております。

今後はレクリエーションなどを企画し、組合の活性化を図っていく予定です。更なる発展を目指し組合として意義のある活動をしていきたいと思っております。



第89回メーデー開催にあたって ～ “暮らしの底上げ” を実現しよう! ～

「平和・人権を守り、あらゆる差別をなくそう! 働く者のための働き方改革をすすめ、すべての仲間と結集しよう」のスローガンのもと、第89回メーデーに参加された皆さん、こんにちは。

今年の新潟県統一テーマは「格差根絶!!長時間労働の撲滅」です。未だ長時間労働や後を絶たない過労死・過労自死、雇用形態や性別などの違いによる格差問題などが深刻化しています。弱者が切り捨てられ、結果、格差が拡大し、雇用・労働が、かつてないほど傷み、子育て、医療、介護など、不安は増大するばかりです。こういう時だからこそ、労働組合というセーフティネットを張り巡らせ、すべての働く人に“ディーセント・ワーク”(働きがいのある人間らしい仕事)を行き渡らせなければなりません。

政府がすすめる「働き方改革」ではなく、真に働く者のための「働き方改革」を実現し、誰もが健やかで安心して働き続けられる社会を今こそ創りましょう。これ以上の「格差を許さない!」。春季生活闘争における「底上げ・底支え」「格差是正」の取り組みを社会全体に波及させるとともに、安心と信頼の社会保障制度の確立をめざし、暮らしの底上げを実現しようではありませんか。

東日本大震災発生から7年、熊本県を中心とした九州地震から2年が経過しました。今なお多くの人たちが、不自由な生活を強いられています。また、被災地では子どもたちの心のケア、高齢者のひとり暮らし、若者層を中心とした人口流出など、さまざまな課題が山積しています。災害の経験から、私たちは「人と人」とが支え合い、助け合う精神を学びました。震災を絶対に風化させない、そして被災者に寄り添い、防災・減災の取り組みと合わせて被災地の「復興・再生」に向けて、支援を続けていくことが必要です。

今年のメーデーは、県下22会場、1万4千人余の参加者を見込んでいます。メーデーに参加された皆さん! 誰もが、安心して働き・子どもを産み育て暮らせる、当り前の社会を取り戻そうではありませんか。職場・地域から、すべての働く者と心ひとつに力を合わせ、「暮らしの底上げ」の実現と「自由で平和な世界」をつくるため、行動を起こしていきましょう。

第89回メーデー万歳!

2018年 月 日
第89回メーデー新潟県中央実行委員会
実行委員長 牧野 茂夫

メーデー宣言(案)

私たちは本日、第89回メーデー中央大会を開催した。

メーデーは、米国の労働者が1日8時間労働を求めてゼネストに立ち上がったことを起源としている。世界の働く仲間がこの日に集い働く者の権利を求め、団結と連帯を誓いあった。改めて、性別や世代、産業や雇用形態などの違いを乗り越え、すべての働く仲間や生活者、労働組合、関係団体、NPO・NGOなどが連帯することの大切さを認識し、次の時代に引き継いでいこう。

東日本大震災の発生から7年、熊本県を中心とした九州地震から2年が経過した。今なお多くの人たちが、不自由な生活を強いられている。また、被災地では子どもたちの心のケア、高齢者の孤立死、若年層を中心とした人口流出など、様々な課題が、山積している。震災を風化させず、被災者に寄り添い、防災・減災の取り組みとあわせて、被災地の復興・創生に向けた継続的かつ幅広い運動を展開していく。

日本社会は、いまだ長時間労働や、あとを絶たない過労死・過労自死、雇用形態や性別などの違いによる格差問題などが深刻化している。春季生活闘争における「底上げ・底支え」「格差是正」の取り組みを社会全体に波及させるとともに、安心と信頼の社会保障制度の確立をめざしていく。真に働く者のための「働き方改革」を実現し、誰もが健やかで安心して働き続けられる社会を今こそ創ろう。

世界では、貧富の格差拡大に加え、保護主義の台頭や排他的ナショナリズムによる社会構造の分断など、各方面での緊張感が高まっている。世界の恒久平和に向けた運動を強化するとともに、「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成のために、政府や経営者団体、国際労働組合総連合(ITU)などと連携し、すべての人が平和と人権を守り、豊かさを享受できる世界をめざしていく。

戦後世界を支えてきた自由や民主主義という規範が揺らぐ中、わが国においては、その根幹に関わるような出来事が続いている。この危機を乗り越え、健全な民主主義を取り戻すために、先頭に立って努力することを誓いあおう。

私たちはメーデーの起源を心に刻み、すべての仲間の連帯で、「ディーセント・ワーク」の実現に向けて、全力を挙げて取り組むことをここに宣言する。

2018年4月28日
第89回メーデー中央大会